

平成28年4月28日

## ユネスコスクール宮島学園の活動に協力しています

世界遺産登録20周年を迎えた宮島を教材に教育活動を行っているユネスコスクール宮島学園（廿日市市立宮島小・中学校）に、平成27年度から本学理学研究科附属宮島自然植物実験所が協力しています。

今年度は、日本科学財団の助成をいただいた絶滅危惧種モロコシソウの域外保全活動へ協力します。

また、宮島ロープウエーターミナル駅周辺の人為的な影響で生じた荒廃地での植生回復のため、森林管理署や広島観光開発（株）、（一社）宮島ネイチャー構想推進協議会等の協力を得て、植栽計画を進めています。

この計画では、宮島自然植物実験所が指導を行い、宮島学園での教育の一環として宮島島内の種子由来の苗木を作り、3年から5年をかけて育成し、現地へ植栽を行うことにより荒廃地を緑化する予定です。

### <活動概要>

絶滅危惧種のモロコシソウの保全及び宮島ロープウエーターミナル周辺の植生回復のための活動を昨年の夏頃からを開始した。生物多様性とくに遺伝的多様性に最大限配慮するため、宮島島内の種子に由来した苗を育成していく。宮島学園と協力し種子集め・種苗育成を毎年行い、10年程度をかけて保護活動を行う予定。

### 参考

【宮島自然植物実験所 HP】 → 宮島での社会貢献活動

<https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~main/index.php/%E5%AE%AE%E5%B3%B6/%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E8%B2%A2%E7%8C%AE>

大学院理学研究科  
附属宮島自然植物実験所 坪田 博美  
TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001